

TCA

—NEWS—

Vol.22 秋号

発行

富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0085 富山市丸の内1丁目4番50号
富山市国際交流センター(市図書館1階)内
TEL (0764) 42-1109 FAX (0764) 42-3807
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代



ベネット農場に建つ「和合記念碑」

「和合記念碑」は、カロライナ、ジョージア、フロリダ州の南北戦争終結協定が南部連合軍ジョセフ・ジョンストン将軍と連邦軍ウィリアム・シャーマン将軍によってBENNETT FARMで調印されたことを記念して建てられました。

BENNETT FARMはダーラム市の西方に位置しており、現在はノースカロライナ州の歴史景勝地BENNETT PLACEとなっております。

会員募集

広げよう友情の輪

1998.9.15～9.22

海外研修 友好都市親善訪問

～中国7泊8日の旅～

窪田姉妹友好都市委員長を団長とする一行26名は、平成7年度海外研修から2度目となる秦皇島市を訪問しました。しんだり、囲碁交流を通して、親善と交流を深めるなど、両市の新たな友好関係の絆を深めました。

また、上海・天津・北京・西安では、偉大な歴史の国の名所・旧跡を訪ねたり、中国料理を味わったりと、たくさん

9.15(火)

AM9:00

富山駅

Start



(1時間25分)

名古屋空港

(2時間10分)

上海



9.15(水)～9.17(木)

秦皇島市



天下第一関 万里の長城の最東端



車窓より



秦皇島市 訪問団一行

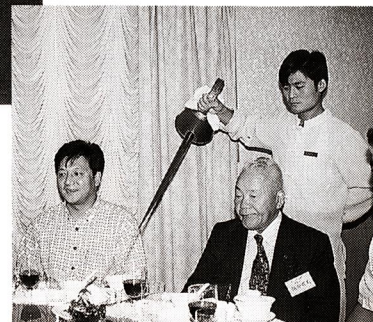
北戴河 秦皇島海浜リゾート地



民謡・民舞を披露する



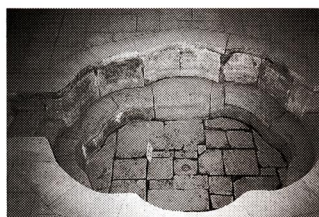
答礼宴 ♪海よふるさと♪を合唱する



歓迎会
貴賓茶で歓迎される



碑林博物館 拓本製作中



唐代に玄宗皇帝と楊貴妃が使用した浴槽



秦の始皇帝兵馬俑 中国2000年前の地下御守衛軍団

台風のため
少し遅れました

9.23(水)

AM1:00

富山駅

北口

Goal



名古屋空港



(5時間10分)

9.20(日)

～

9.22(月)

西安

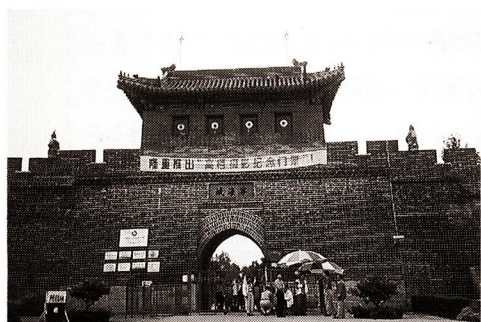


天安門 中華人民共和国のシンボル

(1時間40分)

—秦皇島市

同市の表敬訪問をはじめ、歴史や観光を楽しむ思い出と多くを学んだ研修旅行でした。



老龍島



天津 食品市場

天津 テレビ塔



天津駅

9.18
(金)



(2時間)

9.19
(土)

北京



北京 天壇公園 明・清代の皇帝が五穀豊穡を祈った祭壇



表敬訪問

9月16日

黄栄副市長一行に拍手で迎えられ表敬訪問しました。

黄栄副市長は、「何度目かお会いしますね」と親しみ深くあいさつをされました。

窪田団長は、正橋市長からのメッセージを手渡し、記念品の交換をした後、当協会から秦皇島市人民対外友好協会へ友好親善奨学金を贈呈しました。

歓迎会・答礼宴では、民謡・民舞の披露や練習を重ねた合唱・花笠音頭、おわら節の輪おどりを全員で楽しみました。



“你好”
“熱烈歓迎”

囲碁交流

9月17日

平成6年につづいて、2回目となる囲碁交流は、和やかに、真剣に対局が行なわれ、言葉が通じなくても盤面で話すことができた素晴らしい交流でした。

さすがに中国棋士は強い。夜間囲碁学校に学ぶかわいい小学生が棋譜を執りました。また、指導碁もたのしんだりしました。

当協会棋士も大活躍で2位から4位の成績をいただきました。これからも、囲碁交流が続き、両市の友好がますます深まることを期待します。



“謝々”
“再見”

協会の活動や国際交流について、日頃、思うこと……

(理事の方々に寄稿をお願いしました。)



「ALTってなに？」

廣田 憲一 理事

国際交流や国際理解を進める上で、今や、欠かせぬものの一つとなっており、富山（いや日本）の英語教育を変えつつあるのが、このALTなのです。Assistant Language Teacherのイニシアルを採ってALTと呼ばれ、語学指導助手と訳されています。

富山市教育委員会には現在12名のALTがおり、市内の各中学校に配置されています。

一人のALTは週に20時間、年間600時間の英語の授業に参加し、生きた英語の学習に活躍しています。

ところで、彼らは、よく生きた英語を話すテーブルコーダーのように思われていますが、それだけに止まらず、非常に積極的で活活な人柄で生徒達に接する事を通して、それぞれの国の習慣や文化、物の考え方を伝えてくれています。このように生徒達は、学校生活のいろんな場面でALTと接する中で自然に国際感覚を身につけることができるのです。

今の中学生たちは将来、現在50歳代の私たちのように長い間英語を勉強したはずなのに話せないといったことにはならず、身につけた国際感覚と語学力で国際社会で活躍してくれることと期待を寄せています。



「中日友好の船・明華号の思い出」

中田 義一 監事

昭和54年（1979年）5月27日、全国寄港地9番目の富山新港（5号岸壁）に訪日大ツアー団（廖承志団長）団員606人を乗せた明華号（14,424トン）が着岸。

近代化達成に役立つ参観学習と友好促進のため中国の政府委員会代表の中央班、北京・上海・天津3特別市の代表各省代表の地方班あわせて28班で組織されていた訪日団が、

27日・28日・29日の3日間、富山班・石川班・福井班に分かれ県内の農業・工業・医薬・流通（商店街・百貨店）などを見学、市民県民の熱烈歓迎の交流が展開されました。

富山市では「歓迎の夕べ」を開き児童合唱団・民謡研究会によるコーラス・民謡と踊りを披露し、団員からおお国の歌や踊りの披露もあり、和やかな交歓会でした。

また、この時、友好都市提携について廖団長、孫平化副団長に強い要請が改井富山市長から市立図書館特別室での懇談会で出され、大きく前進しました。

当時は、県・各市富山市ともに国際交流担当もなく少ないスタッフで県日中友好協会の皆さんとの連携をはかりながら歓迎日程を進めました。この関わりをもったことが、私自身の国際交流の始まりだったかと、この時のことを思い出しています。

10月は国際協力月間です

寄稿

ご寄稿ありがとうございました。これからも、みなさまの声を届けていきたいと思いたすのでよろしく、ご協力下さい。

閑話休題

会員 北野 太郎

国際交流について思う事。「知己知彼」。これは、中国の諺ですが、先ず自分を知り、相手を理解する事で、これが交流の原点かと私なりに認識しています。自分本位の直流であってはいけないと思います。出来る限り多く相手を理解するよう努力して、始めて真の交流が出来るのだと思います。私見ではありますが、私は、今まで海外へ数多く行きましたが、その都度、その行き先々の国（地方）の地誌、歴史、文化、国民性 etc を調べてから出かけました。

私の体験の一例を申し上げますと、1988年頃、中国の西安市にアルミ缶のプラントを設置した時の事です。その当時の私には西安に対する知識は全くありませんでした。そこでこの交渉に先立って、中国史誌に目を通し、秦から隋唐の時代に至る長安（現在の西安）の変遷、例えば、秦の始皇帝の業績や、隋唐時代の遣唐使にまつわる日本との関係、阿部仲磨呂、空海（弘法大師）の足跡を繙き、また、唐詩を手にして、長安の栄古盛衰、玄宗皇帝と楊貴妃のロマンの長恨歌にも

目を通しました。おかげで交渉時の西安の要人との会話も進み、無事プラントの設置を終えました。その時陝西省政府の省長の出席を得、非常に感銘いたしました。

その後、時を経ずして、富山市長の要請に応じて、陝西省から秦の始皇帝陵の兵馬俑等99点の富山市への借出しに盡力させていただきました。これもプラント設置時の交流に依る陝西省及西安市の人脈（老朋友）のよき理解と協力によるものと深く感謝しています。

今後とも、相手の立場に立って、相互扶助の交流に微力を尽くしたいと思っています。



「'94春節」当センターにて（筆者は右）

モンゴルから留学生を受け入れて

総務企画委員会 安藤 眞理子

「エネちゃん ようこられたね!」「こんにちわ!」手を取り合って、抱き合って、でも、ちょっと恥ずかしそうに、ぎこちないところも見せながら、お互いに信頼と安心のファミリーのはじまりです。富山駅前で、バスから降りたエネビシさんと、出迎えたホストファミリーの竹内さんの出会いのシーンです。

私は、ナセル・オープンドア日本協会を富山で…といろいろ悪戦苦闘しながらも、いま、第1号の留学生を迎えることができたことに、感無量の熱くふるえる



思いで、この風景を見守っておりました。

私は、当協会の設立記念事業「国際交流担い手シンポジウム in 富山」に参画したり、「箱根会議」に出席したりする中で、ナセル・オープンドア日本協会の向鎌治郎代表に出会って、この協会のことを少しずつ知るうちに、富山でも何かできないかと、いろいろ関わりを持ちました。

しかし、準備をすすめるごとに、思ったより多くの難題があり、たくさんの人たちにご協力をいただきながら、平成9年8月1日に「ナセル・オープンドア日本協会富山支部」を設立することができました。そして、今回、文部省の指導による「長期受入れ交換留学プログラム」で、モンゴルからの留学生をお世話することになり、各方面の方々のご協力で、無事にここまで進めることができました。

ドゴスボルド・エネビシさんは、9月4日から来年の7月2日までの予定で、竹内肇様宅にステイして、県立富山高校1年生に通学します。

善学善遊に日本の多くを解って、無事に日本での留学を終えることができますようにと、願っております。

委員会活動報告

地域交流委員会 日本伝統文化の紹介

『おわら踊り』

7月26日

講師

おわら道場

福沢赫一先生

地域交流委員

須沼富美子先生



富山在住の留学生や外国の人たちに日本文化にふれて体験してもらうおうと「おわら踊り」をおわら道場の師範から指導を受けました。

最初は手を上げたり、叩いたり懸命だったのに、演奏が入って輪踊りになる頃には、すっかり「おわら」らしくなりました。「富山まつり」に参加するぞ！

『富山まつり』で国際交流

8月8日

富山まつりメイン行事「越中おわら踊り」に参加しました。インドのB. V. ラオさんのプラカードを先頭にマラウイ、スーダン、中国、インドネシア、オーストラリアなど国際色も豊かに、ゆかた姿の踊り手は富山の街にとけ込んで、楽しく国際交流をしました。



『日本舞踊』

9月27日

講師

花柳源香先生



“富山まつり”で「おわら踊り」を踊って、異文化の中で体験した感動の余韻もあったのか、外国の人たちは、ニコニコ顔でやって来ました。はじめに舞台衣装もあでやかな「舞」と「紅葉の橋」の模範舞踊をうっとりと観賞した後、うちわを手に「村祭り」を習い、踊りました。

国際教養委員会 合同研修会

国際交流と 英語

～インターネット
の利用等～

講師

高岡短期大学

林暢夫教授



7月11日 当センター会議室

国際交流に外国語（英語）学習の必要性は言うに及ばないが、コミュニケーションは、近年インターネットにより距離と時間の問題を取り去りました。そして、この情報革命はもう身近なものになって来ている…と。

林教授は、一昨年の放送講座で“富山を英語で紹介”されました。

市科学文化センターと共催合同研修会

「JET青年との名所探訪・親善の集い」の事前研修と一般通訳ガイドの実施研修を兼ねてトレーニングしました。科学文化センターの施設、展示物などに関する科学的専門通訳の相互研修を実施したものです。



8月26日 富山市科学文化センター

JET青年との富山近郊の名所探訪・親善の集い

富山に勤務するJET青年たちと会員は、バスで市近郊の名所旧跡、文化施設を訪ね、日ごろ、学習した英語で案内したり、意見交換したりしながら国際親善を深めました。



9月26日

JETプログラムとは…

JAPAN Exchange and Teaching「語学指導等を行う外国青年招致事業」昭和62年度より外国語教育や地域の国際交流への協力、推進を目的にスタートしたものです。

ボランティア委員会



9月5日 当センター会議室

ボランティアと私 講師 大崎和紀 理事

風俗、習慣、考え方が異なる中国との合併事業をはじめるにあたり、初めてのことでばかりで苦労した経験をとおり、ボランティアについて話されました。とくに、それぞれの目線で無理のない長つづきする活動を強調されました。

姉妹友好都市委員会



9月5日 県民会館キャスル

秦皇島市友好訪問団歓迎会

趙鉄鍊秦皇島市長を団長とする秦皇島市友好訪問団一行6名は、富山市を訪問されました。市内の施設、企業を視察研修の後、当協会会員らと交流交歓会で友好を深めました。

お知らせとらば

国内研修

“国際交流先進都市に学ぶ”

- ・とき 11月22日(日)～23日(祝)
- ・ところ 山形県鶴岡市
庄内国際交流協会
- ・定員 20名
- ・会費 20,000円(予定)

国際交流フェスティバル'98

- ・とき 10月10日(祝) 午後1時から午後5時まで
10月11日(日) 午前10時から午後5時まで
- ・ところ 富山市民プラザおよび大手モール
- ・内容 ステージ公演・国際交流団体活動紹介ブース・国際協力フォーラム・各国料理紹介・国際食文化交流・パネル展示・国際理解ワークショップ・各国文化体験コーナー

異文化交流しませんか！

“日本伝統文化講座”

茶 道	10月25日(日)	当センター7F
華 道	11月15日(日)	当センター1F
大 正 琴 餅 つ き	12月20日(日)	当センター1F および7F

99年1月以降の予定

- ・日本伝統文化の紹介「座禅」
- ・外国文化の紹介「地図で歩く世界の旅」第4回

ペンフレンドを求めています！

富山県の農業センター研修生として来富された柴宝華さん(中国遼寧省金或嶺農業学校講師)より、学生がペンフレンドを求めていると当協会に依頼がありました。ご希望の方は、ご連絡下さい。

会員のみなさんへ〈会費納入〉のお願い 会費 1口3,000円

○納入方法 ①当協会窓口 ②振込(北陸銀行市役所出張所 口座「富山市民国際交流協会」普通預金 No.4076440)

お問い合わせは当協会まで TEL 0764(42)1109 FAX 0764(42)3807

高校生のための

国際協力セミナー'98

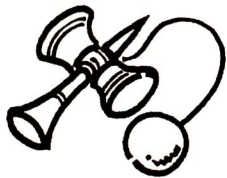
県内の高校生や留学生、海外研修生等50余名は、開発途上国の抱える問題を理解し、取り組むための方法について考えました。

国際協力事業団北陸支部などの主催で、協力隊OBなどの報告の後、食糧・国際交流についてや各国紙幣から見えることなど、グループに分かれて考えました。



五箇山青少年
旅行村
(合掌の里)
8月20日
～21日

リッチモンド小学校と 交流会

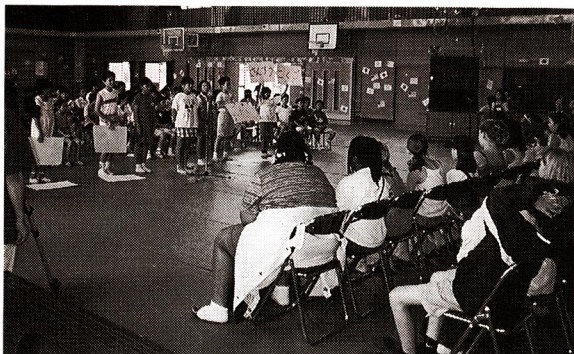


7月15日～20日

日本語教育に力を入れている

富山県の友好州アメリカ合衆国オレゴン州リッチモンド小学校の5年生が日本青年会議所富山ブロック協議会のお世話で、昨年に引き続き来県しました。

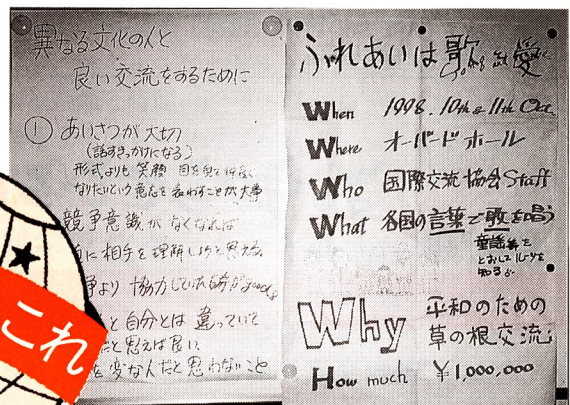
堀川小学校を訪問し、学校紹介や書道、折り紙、けん玉、長縄とび等で交流しました。



出会いから始めよう

とやまでできる国際交流探し

『何かをしたいけど、何をしたいのかわからない』『したいことがあるのに、どうすればいいかわからない』そんな思いで当協会に集う仲間たちで「自分に出来ることを探してみよう」と、9月5・6日に古洞の森で一泊交流会をしました。タイ、マレーシア、韓国など外国の人たちと一緒にちょっとカルチャーショックを体験できる「異文化理解ゲーム」や各国料理作り、また、「今後一年で行う国際交流活動企画をす」としたら…など、いろいろ挑戦しました。



韓国昌原市を訪問

7月15日



富山県日韓親善協会会長高田真氏等一行は、昨年当協会の海外研修で訪問した慶尚南道の道都、昌原市、馬山市を訪問し、今後一層の友好親善を深められました。

編集後記

編笠をかぶったり、ゆかたの裾からスニーカーが見えたり、ジーパンだったり…と。

踊りながら顔を見合わせて、目がニコリ笑う。真剣に、そして、楽しそうに踊り続ける。踊り終えたとき、みんな「楽しかった!」と手を取りあって喜びあって…熱い感動。冷たいお番茶をみんな「おいしー!」。「ありがとう」と手を振って帰って行った彼らの汗で汚れたゆかたを洗いながら「みんな友だち」をあらためて思いました。

富山在住の外国の人たちと一緒に参加した「富山まつり」でのステキな異文化交流。私たちは、草の根の国際交流の多くのことを教えられて気付かせてもらいました。10月は国際協力月間です。共生と相互理解を深めるためにみんな一人ひとりが主役の活動を進めていきましょう。

では、皆様からのお便りをお待ちしております。

広報委員長 岡田昌代